

Nice Town Good People

こんにちは町会です

助けあいのまちづくり特集号



「自分の住んでいるまちを思い浮かべてください。」と言われたら、皆さんはどのような風景を思い浮かべますか。
見慣れた住宅街、お気に入りのよく行くお店、公園で遊ぶ子どもたち。そんな日々のまちを形づくっているのは、そこで暮らす人々です。
誰もが、一人ではなく、緩くも他の誰かと関わりながら暮らしている。今回は、そうした地域のつながりに着目し支えあい・助け合いといった観点から、よりよいまちを目指して活動する町会・自治会の方々を紹介します。
有事の際に頼れる町会・自治会の知恵・工夫が盛り沢山。
さあ、皆さんも、縁の下の力持ちとして、一緒に地域を盛り上げてみませんか。

今回ご紹介する町会・自治会

京橋二の部連合町会

京橋三の部連合町会

人形町二丁目浪花会

東日本橋三丁目町会

ソフトタウン晴海自治会

都営勝どき六丁目アパート自治会



町会・自治会についてのお問合せは…

◎京橋地域 区民部地域振興課 Tel:03-3546-5337

◎日本橋地域 日本橋特別出張所 Tel:03-3666-4251

◎月島地域 月島特別出張所 Tel:03-3531-1151

町会・自治会情報は「中央区町会・自治会ネット」→

中央区 町会・自治会ネット

検索





地域を挙げて取り組む「まち」の美化

京橋二の部連合町会会長 中村信一さん

なかむら しんいち

京橋三の部連合町会会長 九鬼悦子さん

くき えつこ

数多くの店舗・企業が集まる銀座には、全部で二十三の町会があり、古くからの商業地を背景に、法人会員が中心となって活動しています。そのうち、中央通りを囲むように位置する十五町会は、それぞれ京橋二の部連合町会、京橋三の部連合町会としてまとまり、地域の意思決定を行っています。

銀座では、さらに広域の組織として、町会・連合町会、商店街組織の通り会、業界組織・団体によって構成される「全銀座会」があり、まちの課題解決や魅力的なまちづくりのため「オール銀座」で取り組んでいます。

「個の取組」から「地域全体の活動」へ

「全銀座会」を構成するメンバーは、まち全体をより良くするため、それぞれ工夫して活動しています。各々の活動で得



銀座六丁目町会では、クリーンデーを設け、町会員の店舗が面する中央通りを定期的に一斉清掃しています。

た知識や経験は、他の会員に情報提供され、「オール銀座」としてまち全体の活動へと広がっていきます。

そうした中、「全銀座会」内に設置された「環境安全委員会」では、昨年、東京オリピック開催に向けて、「安全・安心」「まちの美化」を目標とした活動に取り組んでいくことを決めました。

ゴミ出しルール策定プロジェクト

「まちの印象は商売に直結する、という危機感を持つて取り組んでいます。」(京橋三の部連合町会の九鬼会長)銀座では、「まちの美化」活動の一環として、各店舗のゴミの出し方の統一化に乗り出しました。京橋二の部連合町会内では、特に銀座三丁目が先行して取り組みを開始し、銀座の強みである「横のつながり」をいかして、地域内でノウハウを共有。令和元年九月からは「全銀座会」として、まち一体となって取り組んでいます。

取り組みでは、従来のゴミ袋での出し方ではなく、「事業者・店舗名を明記したふた付プラスチック製バケツを使い、開店前にしまう」というゴミ出しルールを決定。二十三町会を十五チームに分け、定期的に店舗を回って声掛けやチラシを配布しています。



中村会長

九鬼会長

地道な活動ですが、少しずつ対応する店舗が増え、まちの半分の店舗・企業がふた付バケツを使うようになりました。「銀座は昔から横のつながりが強い地域。これからも地道に力を合わせて取り組んでいます。」(京橋二の部連合町会の中村会長)



メンバーが実際にまちを歩き、ゴミ出しの現状調査や見回りを行います。店舗がゴミを出す夜間に実施するため、時には活動が深夜になることも。



法人会員になりませんか

町会・自治会は、地域住民以外に、事業を営む方も法人会員として加入いただけます。事業主の皆さんも、この機会にぜひ町会・自治会への加入をご検討ください。会員同士の連携・協力で、地域一体となって活動することで、一層安全・安心で住みやすく、活気のあるまちをつくりましょう。

なお、町会・自治会に加入している事業者が、区の実施する中小企業向け商工業融資を利用する場合、借受人負担利率を優遇します。詳しくは「令和2年度中央区商工業融資制度一覧」※をご覧ください。

※ <https://www.city.chuo.lg.jp/sigoto/kigyohenoyusi/kunoyusiseido/saishinyuushiseido.html>





どんなときも「まち」を元気づけるひと工夫

人形町二丁目浪花会会長 **石田英朗**さん
 東日本橋三丁目町会会長 **飯島孝夫**さん

”まち”をつなぐ町内ラジオ体操

人形町二丁目浪花会の名称は旧町名の「浪花町」に由来します。住民から旧町名を残したいとの要望があり、町会名に町の歴史が刻まれました。

例年、夏の子ども会や防災訓練などの町会活動を実施していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で延期に。「何か町会として活動できないか」と青年部でオンライン部会を開催したところ、「ラジオ体操はどうか」との声があまりました。町内放送用の機材を使えば、皆が自宅でラジオ体操に参加でき、また、機材の動作確認も兼ねることができ、早速実施してみると、「町会内だけでなく、道すがらの人も放送に合わせて体操していて、うれしかったですね」と、企画を主導した青年部副部長の高村さんも、手ごたえを感じたようです。

同町会では、誰もが参加できるように



名物!夏のこども会の泡祭り。今年中止となってしまうでしたが、例年こんな楽しいイベントを実施しています。

環境づくりを大事にしています。例えば、イベント周知についても、掲示板や掲示板の活用に加え、インターネット上での周知や参加申込など幅広い層に配慮。「青年部を中心に若い方の能力を生かし、新住民と旧住民が融合できる体制を『浪花モデル』として進めていきたいです。」(石田会長)



自宅でも放送がよく聞こえるように、チラシでは「窓を開けて」と呼びかけました。

”夢”を共有する新イベント

問屋街として栄えてきた「橋町」一帯も、最近マンション建築による新規住民が増えてきています。そんな新旧入り混じる地域を支える東日本橋三丁目町会では、「新旧住民、商いをする人が、三方よしとなるようなバランスの取れた町会を目指したい(飯島会長)」としています。

そんな全員参加型の町会活動の一翼を担うのが青年部です。感染拡大で集合型イベントは中止しましたが、コロナ禍だからこそできること、青年部の果たすべき役割を考え、合言葉の「楽しく元気に」かつ「よく」を实践すべく「新しい生活様



飯島会長



石田会長



川名青年部長



高村青年部副部長

式でも町が元気になる活動を模索しました。(川名純一青年部長)多くの方の想いを結集し、新形態の「橋町お絵かきコンテスト」が生まれました。

「みんなが描いた夢で、橋町を元気にしよう!」と呼びかけ、参加者それぞれが描く「夢」の絵を集めた同イベントは、町の店舗や町会員の住宅の壁面、駅のコンコースギャラリーなど、町全体を美術館に見立てて展示。外出を控えている住民が楽しめるように、オンラインギャラリーも開設しました。今後も町の発展のため「従来の枠組みにとらわれないことなく、柔軟にチャレンジしていく」予定です。

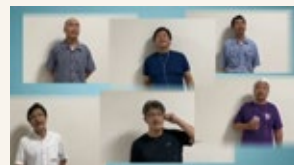


集まった33作品は、青年部員の手で14か所の町内店舗・町会員自宅壁面(上)、馬喰横山駅(中)に展示されました。

中央区町会連合会『まちの笑顔』プロジェクト

中央区町会連合会は、区内の連合町会に加盟している町会・自治会で組織しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響の中、区民の皆様にも少しでも希望を感じていただきたく中央区「まちの笑顔」プロジェクトを実施しました。本プロジェクトでは、区民の皆様にも「上を向いて歩こう」を歌唱している動画や笑顔の画像を投稿いただき、とりまとめた動画を公開しました。公開中の動画は、こちらからご覧ください。*

※ <https://www.youtube.com/watch?v=FuikniC5FRo>



島域 月地

住み慣れた「まち」で安心して暮らすために

ソフトタウン晴海自治会 会長
都営勝どき六丁目アパート自治会 会長 成田高さん

高澤邦雄さん
たかざわ くにお
なりた たかし

まずは“顔なじみ”を目指して

あんしん協力員による「地域見守り活動」に取り組んで、今年で四年目となるソフトタウン晴海自治会。高齢者世帯が全体の六〇七割を占めるようになり、防災訓練など自治会の活動では高齢者の参加を念頭においています。見守り活動は、口コミで情報が広がり、見守り対象者となることを希望する方が少しずつ増加。「今年は、あんしん協力員に、若い世代も参加してくれました。これからもつと高齢化が進むことを考えて、誰もが安心して暮らせる環境を整えたいです。」(高澤会長)

主な活動は、月一回の戸別訪問による安否確認と、年二回の茶話会、敬老の日のプレゼント、出前講座など。戸別訪問では、言葉を交わすのは二・三分ですが、「会ったときに挨拶するようになったり、茶話会などへの参加も増えました。顔なじみになれたことが一番の成果」と、中心メンバー



より良い活動に向けて、あんしん協力員同士の意見・情報交換は欠かせません。

の五戸さん。今年には新型コロナウイルス感染症拡大でイベントが開催できませんが、安否確認アンケートを配布し、電話やドア越しでの確認活動を続けています。



「不安な時だからこそ」と5・8月に安否確認アンケートを実施しました。

フロアごとのチームワークで見守り

都営勝どき六丁目アパート自治会では、制度スタート時から、あんしん協力員による「地域見守り活動」に参画。フロアごとに、担当するあんしん協力員一名を決めているところが特徴です。あんしん協力員は見守り対象者への定期的な訪問・電話による安否確認に加え、担当フロアに住む住民の日々の暮らしに目を配っています。細かな気づきは、自治会の役員に共有されるなど、組織的な見守り体制を整えています。「高齢者が多いアパートなので、孤独死防止が念頭にあります。各フロア制は日常的に異変に気づきやすいのがメリットですね。」(成田会長)

もう一つ、高齢者を見守る仕組みとして「高齢者クラブ」活動があります。同自治会

の高齢者クラブは、お茶会やゲーム、カラオケといった月一回の定例会で

「楽しく集う“場”を設けるとともに、おとしより相談センターから講師を招いたりしながら「運動系」のイベントも開催。「お茶菓子なども季節ごとに選び、お手玉遊びやストレッチなど、飽きずに参加しやすいテーマを選んでいきます」とのこと。声掛けと場の提供で、孤立しない暮らしを支えています。



成田会長



高澤会長



楽しく交流しながら参加できるイベントを実施しています。写真は吹き矢体験会の様子。

地域見守り活動団体募集中

地域見守り活動とは、見守りを希望する高齢者に対し、地域のボランティア(あんしん協力員)が戸別訪問や街中での声掛け等による見守りを行い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する活動です。活動にあたり区では見守り対象者1人当たり年間最大3,000円の助成を行っています。

区内ではマンション、自治会や町会を中心に構成された25団体が活動中です。

詳しくは中央区介護保険課地域支援係(3546-6762)までお問い合わせください。



見守りキャラクター
マモちゃん